

重

## 国際競争に打ち勝つ

### 「瀬戸内産業再生戦略」

点

山口県の瀬戸内沿岸地域には、石油コンビナート企業をはじめ日本経済を牽引してきた企業が集積し、世界に誇る高い技術力とブランド力を有しています。

国際競争に打ち勝つための産業基盤の強化など、事業環境の整備を進め、本県の強みである瀬戸内沿岸の製造業の再生・強化を図ります。

戦

#### プロジェクト

- ◇物流拠点港湾の機能強化
- ◇工業用水の安定供給
- ◇物流等基盤の強化
- ◇付加価値の高い研究開発・設備投資等の促進
- ◇産業インフラの長寿命化

略

プロジェクト	No	物流拠点港湾の機能強化
	1	

目標	物流拠点港湾施設の整備等を推進し、県内企業の国際競争力を強化
----	--------------------------------

現状と課題

- 本県の港湾貨物取扱量(121百万トン)は、全国第9位(平成23年港湾統計)
- 本県の石炭取扱量及び移出(国内の港湾への配送)量は、全国第1位(平成23年港湾統計)
- 徳山下松港と宇部港は連名で石炭部門の国際バルク戦略港湾に選定
- 本県のみならず、瀬戸内沿岸の製造業の再生・国際競争力強化のため、旧世代の港湾機能から脱却し、船舶の大型化等への対応が必要

取組方針

- 国際バルク戦略港湾(徳山下松港・宇部港)について、大型船舶を活用した一括大量輸送による石炭の安定的かつ安価な輸送を実現するため、実施計画に沿った取組を進めます。
- 船舶の大型化やコンテナ貨物の増加等に対応するため、岸壁や航路等を整備します。
- 港湾物流の効率化、コスト縮減に向けたソフト施策の充実を図ります。

具体的な取組

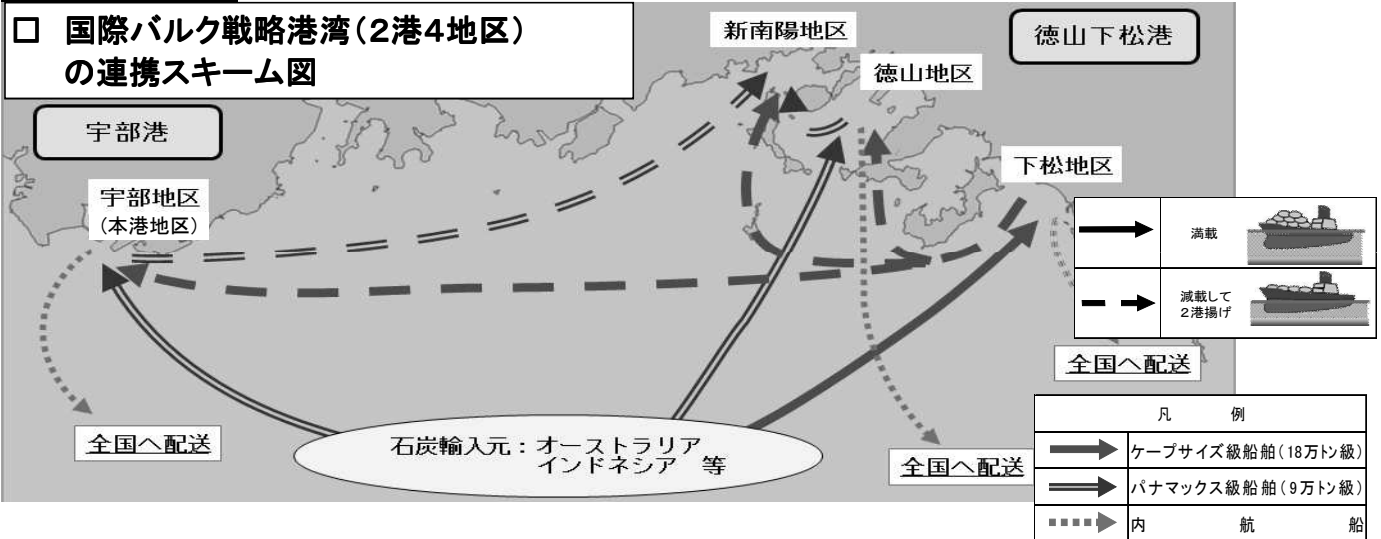
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 大型船舶による一括大量輸送、港湾連携の推進(国際バルク戦略港湾の整備)</li> <li>□ 効率的な荷役システムの充実・強化(物流機能の強化)</li> <li>□ 大規模災害時の物流拠点の確保(耐震機能の強化)</li> <li>□ ソフト施策の充実(効率的な港湾運営及び利用促進)</li> </ul>					
	取組	平成25年度 (実績)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
工程表	国際バルク戦略港湾の整備	港湾計画	徳山下松港 全面改訂(3月)		宇部港 一部変更	
		徳山下松港		<徳山地区>航路・泊地(-14m) 着手(測量、補償)		
				<新南陽地区>航路・泊地(-12m) (浚渫工事実施)		水深確保
				育成プログラムに沿った整備推進		
		宇部港		<本港地区>航路・泊地(-13m) (浚渫工事実施)		水深確保
						パナマックス級船舶 入港対応
	物流機能の強化	徳山下松港		<下松地区>岸壁の改良 着手(設計、改良工事)		鉄道車両輸送用大型船の入港
				<徳山地区>コンテナターミナルの再編整備 (野積場改良工事実施)		電気設備工事実施
						I期再編完了
		岩国港		<装束～室の木地区>臨港道路の整備 (橋梁工事実施)		(橋梁・舗装工事実施)
				<新港地区>コンテナターミナルの整備 荷役機械設置完了(3月)		I期区間供用開始 (装束～新港)
				<中関地区>コンテナターミナルの再編整備		
三田尻中関港		臨港道路供用開始(10月)	(道路付替工事実施)			
		<中関地区>泊地(-7.5m) (浚渫工事実施)		水深確保(浚渫工事)		

工程表	ハード	耐震機能の強化	岸壁の改良 <徳山下松港> 整備完了(3月) <三田尻中関港> 整備着手 (本体工事実施)			
	ソフト	効率的な港湾運営及び利用促進	ポートセールス促進、コンテナ 港湾物流最適化支援調査(3月) パナマックス級船舶(9万トン級)の夜間入出港への対応	航路の利用促進	等	

**これまでの取組成果**

- 【国際バルク戦略港湾の整備】
  - 徳山下松港の港湾計画の全面改訂
  - 徳山下松港、宇部港の航路・泊地の浚渫工事等を実施し、育成プログラムに沿った整備を促進
- 【物流機能の強化】
  - 岩国港の荷役機械や、三田尻中関港の臨港道路の供用開始等
- 【耐震機能の強化】
  - 徳山下松港の整備完了

**事業の概要**



**物流拠点港湾施設の整備促進**

		国際拠点港湾		重要港湾			
		徳山下松港	下関港	岩国港	三田尻中関港	宇部港	小野田港
ハード	国際バルク戦略港湾の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>■航路・泊地の水深確保</li> <li>■大型係留施設の整備</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>■航路・泊地の水深確保</li> <li>■大型係留施設の整備</li> <li>■廃棄物埋立護岸の整備</li> </ul>	
	物流機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■コンテナターミナルの再編整備</li> <li>■荷役機械の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■航路・泊地の水深確保</li> <li>■廃棄物埋立護岸の整備</li> <li>■ふ頭間のアクセス強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■多目的外貨ふ頭の整備</li> <li>■荷役機械の整備</li> <li>■ふ頭間のアクセス強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■コンテナターミナルの再編整備</li> <li>■荷役機械の整備</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■航路・泊地の水深確保</li> </ul>
	耐震機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■岸壁の改良</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■岸壁の改良</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■岸壁の改良</li> <li>■臨港道路(橋梁)の補強</li> </ul>		

**県内企業の国際競争力の強化**

プロジェクト	No	工業用水の安定供給
	2	

目標	企業立地や既存企業の新たな投資計画に対応できる「工業用水の安定供給体制の確保」
----	---

### 現状と課題

- 山口県の工業用水の給水能力、契約水量はともに全国第1位の規模
  - ・ 給水能力 約171万m<sup>3</sup>/日
  - ・ 契約水量 約159万m<sup>3</sup>/日
- 一方で、地域間で需給にアンバランス
  - ・ 周南地区：計画給水量の全量を契約済み(給水能力 707,700m<sup>3</sup>/日、契約率100%)
  - ・ 防府地区：多量の県保有水(給水能力 154,550m<sup>3</sup>/日、契約率40.6%)
- また、渇水による慢性的な水不足
  - ・ 周南地区、宇部・山陽小野田地区：少雨による渇水により水不足が慢性化

### 取組方針

- 産業活動の重要なインフラである工業用水の安定供給に向け、水資源の確保と渇水への対策に取り組めます。
- 特に、工業用水の全量を売水している周南地区においては、受水企業等の意見や要望を踏まえながら、工業用水の安定的な確保に向けた対策の検討とその具体化に取り組めます。

### 具体的な取組

取組	<b>【周南地区】</b> □ 島田川分水の事業化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 光市・取水場から下松市・配水池までの送水管の整備等</li> </ul> □ 企業局第3次経営計画に基づく水資源・渇水対策の具体的な取組の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 和田取水の川上ダムへの一時貯留</li> <li>・ 水系を越えた広域的な分水の事業化(迫戸分水等) 等</li> </ul> <b>【宇部・山陽小野田地区】</b> 宇部丸山ダムの活用など渇水対策の具体的な取組の検討 <b>【全県(7地区)】</b> 国の料金制度の見直しに合わせた新たな取組の検討					
	工程表	取組	平成25年度 (実績)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	【周南地区】 水資源・渇水対策	● 島田川分水 計画公表(9月) 基本設計(11月～)		(詳細設計)	着工 (導水管布設工事 実施)	→
	【宇部・山陽小野田地区】 渇水対策	● 宇部丸山ダムへの送水ポンプの設置(平成26年度から運用開始) ● 厚東川水系渇水対策協議会による検討【企業・県】		●		→
	【全県(7地区)】 新たな取組の検討	● 全地区7工水利用者協議会による検討【企業】 →節水による減免制度の導入(全地区平成26年度から実施) ● →二部料金制の導入(周南地区平成26年度から導入、他地区継続検討)		●		→

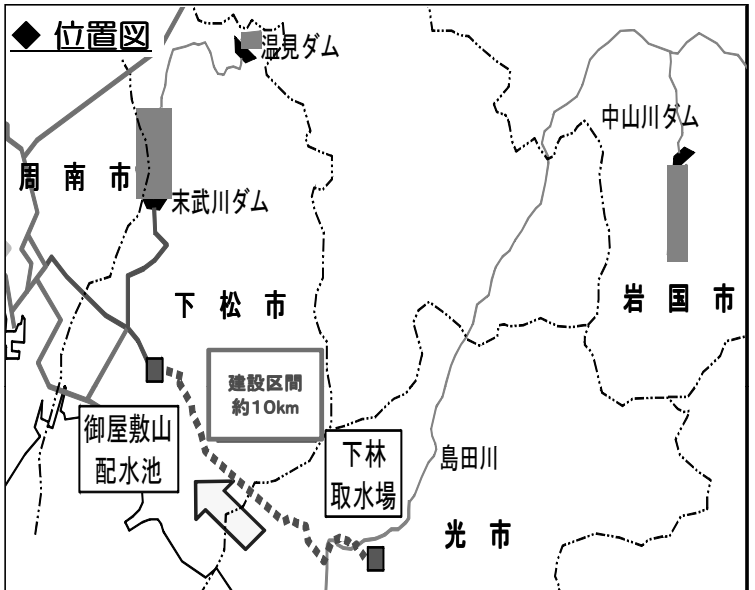
## これまでの取組成果

- 【周南地区の「水資源・渇水対策」】
  - 島田川分水に着手(事業計画公表、基本設計着手)
  - 和田取水の川上ダムへの一時貯留を平成26年度から実施
- 【宇部・山陽小野田地区の「渇水対策」】
  - 宇部丸山ダムへの送水ポンプの設置(平成26年度から運用開始)
- 【全県対象の「新たな取組の検討」】
  - 節水による減免制度の導入(全地区において平成26年度から実施)
  - 二部料金制の導入(周南地区において平成26年度から導入)

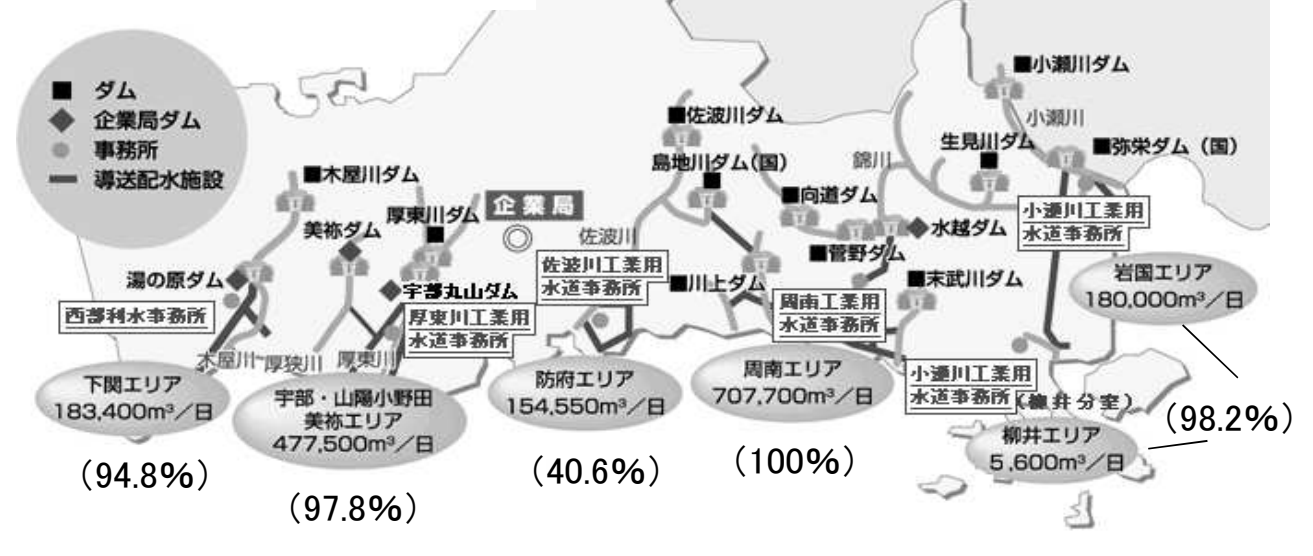
## 事業の概要

### 島田川分水 (中山川ダム上水道水利権の工業用水への転用)

- ◆ 概要
- 水源： 島田川水系 中山川ダム  
(県営多目的ダム、岩国市周東町)
  - 水利権(光市分)： 15,200m<sup>3</sup>/日  
【県企業局への給水量】 14,100m<sup>3</sup>/日  
(有収率※ 93%)  
※「有収率」= 給水量/取水量(通常、取水場等で7%の水量消失を見込む)
  - 給水開始： 平成31年度中  
**平成32年4月の予定を前倒し**
  - 事業費： 約36億円  
[光市・取水場～(送水管)～下松市・配水池]



## 【参考】山口県の工業用水の状況



プロジェクト	No	物流等基盤の強化
	3	

目標	幹線道路網の整備など、基盤強化等による迅速かつ円滑な物流等の実現
----	----------------------------------

### 現状と課題

- 産業振興等の観点から、物流等の円滑化や産業立地等に資するサービス水準の高い道路ネットワークの構築が必要
- 物流コストを低減するため、特殊車両通行許可制度における通行条件の緩和等が必要

### 取組方針

- 地域の課題や利用者ニーズ等を踏まえ、物流等基盤強化に資する道路の整備を促進するとともに、特殊車両通行許可制度の改善等により、物流の効率化を図ることで、迅速かつ円滑な物流等を実現します。

### 具体的な取組

#### ◆ 物流等基盤の強化に資する道路の整備促進

取組	□ 地域の課題や利用者ニーズを踏まえた幹線道路網の整備促進 ・ 山陰道の事業中区間の整備促進、未着手区間の新規事業着手 ・ 地域高規格道路の事業中区間の整備促進(うち供用3箇所)、未着手区間の新規事業着手や、港湾・空港等とのアクセス向上に資する国道・県道の建設促進					
	取組	平成25年度 (実績)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
工程表	地域の課題や利用者ニーズ等の把握 事業箇所の絞り込み	アンケート調査及びヒアリング(～8月) ● 事業候補路線とのマッチング事業箇所の絞り込み ●● 山口の道づくり意見交換会の開催(10月) ●	山口の道づくり意見交換会 ●	引き続き、地域の課題や利用者ニーズを把握	→	
	高規格幹線道路の建設促進	<山陰道(長門・俵山道路)の整備促進> (用地買収促進、改良工事着手)		(用地買収、改良工事等)		→
		<山陰道(未着手区間)の新規事業着手> (優先区間の絞り込み調査) ●	社会資本整備審議会 の地方小委員会 開催(11月) ●	地方小委員会 開催(6月) ●	絞り込み調査に引き続き、 ルート・構造検討、環境・地質 調査等を経て新規事業着手	→
		<各種要望活動> ● ● ●	政府要望(6,11月)、11県知事会要望(7月) ●	政府要望等 ●		→
	地域高規格道路等の建設促進	<下関北バイパスの整備促進> (橋梁、改良工事等)		[供用開始]		→
		<小野田湾岸線の整備促進> (橋梁、改良工事等)		(橋梁、改良、舗装工事) [供用開始]		→
		<山口宇部道路(小郡ジャンクション)の整備促進> (橋梁、改良工事等)		(改良、舗装工事)	[供用開始]	→
		<未着手区間の新規事業着手> 小郡萩道路(絵堂萩道路) の補助事業採択(3月) ●			<絵堂萩道路の整備促進> (測量、調査・設計等) ●	→
		<各種要望活動> ● ● ●	政府要望(6,11月) ●			→
				政府要望等 ●		→

◆ 特殊車両通行許可制度の改善等による物流の効率化

取組	<input type="checkbox"/> 物流関係機関に対して輸送ルートに係るヒアリングを実施し、利用者ニーズを踏まえ、効率的な物流ネットワークを形成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者ニーズを踏まえた大型車両の通行を誘導すべき道路の指定等を国へ要望</li> <li>・特殊車両通行許可制度の改善を国へ要望</li> </ul>				
	工程表	平成25年度 (実績)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
工程表	利用者ニーズの把握、輸送ルートの選定等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 企業、協会ヒアリング調査を実施(6~9月)</li> <li>● 周南、宇部地域でニーズ等を取りまとめ、輸送ルートを選定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 岩国、防府、下関地域でニーズ等を取りまとめ、輸送ルートを選定</li> </ul>		
	大型車両の通行を誘導すべき道路の指定、特殊車両通行許可制度の改善等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 政府要望(6月、11月)道路法等の一部改正(5月)</li> <li>● 指定道路の検討</li> <li>● 早期指定に向け、国への要望、協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 企業ニーズ等を踏まえたルートの追加指定等に向け、国への要望、協議を実施</li> <li>● 誘導すべき道路の指定(国)</li> <li>※6月指定予定、今後も毎年更新</li> </ul>		

これまでの取組成果

【高規格幹線道路の建設促進】

- 山陰道(長門・俵山道路)の用地買収の促進、改良工事に着手
- 山陰道(未着手区間)の優先区間の絞り込み調査に着手

【地域高規格道路等の建設促進】

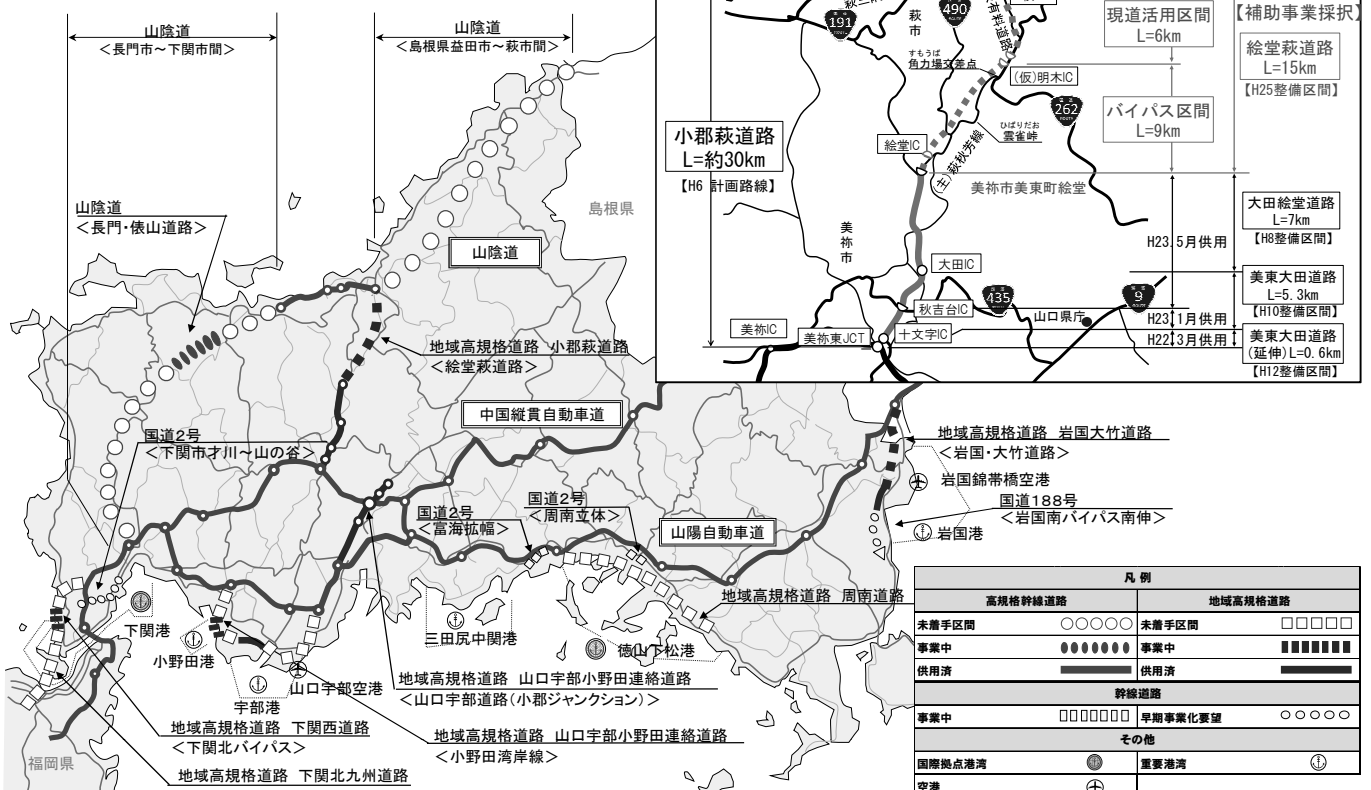
- 小郡萩道路(絵堂萩道路)の補助事業採択

【特殊車両通行許可制度における通行条件の緩和等に向けた利用者ニーズの把握、輸送ルートの選定等】

- 利用者ニーズ等を把握するため、ヒアリング調査を実施し、周南、宇部地域の輸送ルートを選定

事業の概要

山口県の幹線道路の状況



プロジェクト	No	付加価値の高い研究開発・設備投資等の促進
	4	

目標	国際競争力のある「ものづくり立県」の実現
----	----------------------

### 現状と課題

- 瀬戸内沿岸地域には基礎素材をはじめとする様々な産業が集積
- 経済のグローバル化による新興国とのコスト競争の激化
- 国際競争力のある付加価値の高いものづくりの継続・拡大が課題

### 取組方針

- 成長が期待される分野の付加価値の高い研究開発や事業化を支援します。
- 研究開発機能を強化し、高度な研究開発環境を提供します。
- 成長が期待される分野の企業の設備投資を支援するなど、重点的な企業誘致活動を展開します。
- 企業の初期投資の負担軽減に繋がる工場建屋や電力等のユーティリティを備えた工場適地を活用し、積極的な企業誘致を進めます。
- 企業ニーズを把握し、研究開発や設備投資の制約となる規制の緩和を国に要望します。

### 具体的な取組

取組	<input type="checkbox"/> 付加価値の高い研究開発や事業化への支援 ・「やまぐち産業戦略研究開発等補助金」の活用 <input type="checkbox"/> 研究開発機能の強化 ・産業技術センターにおける先進的な研究開発拠点機能の整備 <input type="checkbox"/> 重点的な企業誘致活動の展開 ・優れた立地環境を活かした戦略的な企業訪問の実施、情報発信等 <input type="checkbox"/> 工場建屋や電力等のユーティリティを備えた工場適地を活かした設備投資の促進 ・積極的な企業誘致活動の展開（工場適地の調査、PR） ・企業ニーズに応じた「企業立地促進補助金」の見直し <input type="checkbox"/> 規制緩和 ・企業ニーズを把握し、国に対して研究開発や設備投資の制約となる規制の緩和の要望等				
	取組	平成25年度 (実績)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
工程表	付加価値の高い研究開発や事業化への支援	『やまぐち産業戦略研究開発等補助金』 ● 創設(10月)	研究開発・事業化の促進		→
	研究開発機能の強化	● ● 要望(6月、11月) ● 産業技術センター第2期中期計画の策定(3月)	● 要望(6月)	● 先進的な研究開発拠点機能の整備	→
	重点的な企業誘致活動の展開	● 首都圏セミナーの開催(2月)	● 優れた立地環境を活かした戦略的な企業訪問の実施 企業誘致ウェブサイトや専門紙等による情報発信		→



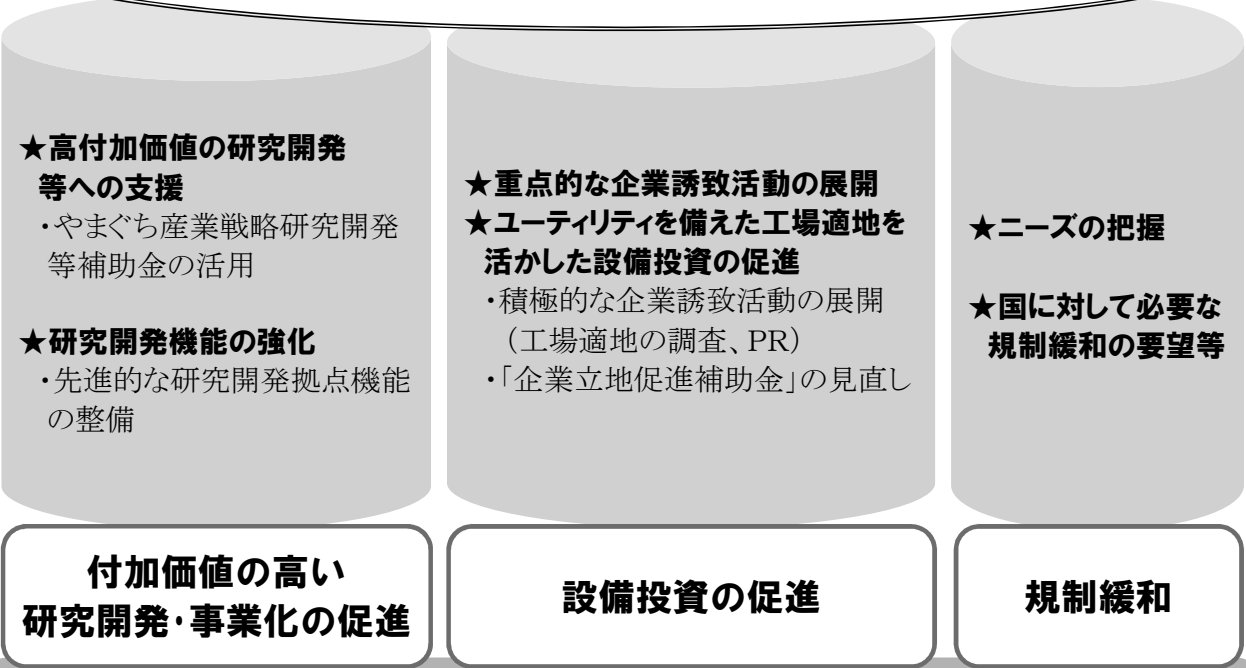
工程表	取組	平成25年度 (実績)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	ユーティリティを備えた工場適地を活かした設備投資の促進	『企業立地促進補助金』 見直しに向けた検討	積極的な企業誘致活動の展開(工場適地の調査、PR)	→ ● 見直し(7月)・実施	
規制緩和		ニーズの把握、研究開発や設備投資の制約となる規制の緩和の要望等			→

### これまでの取組成果

- 「やまぐち産業戦略研究開発等補助金」の創設(H25.10)及び採択(17件)
- 政府要望(H25.6、H25.11、H26.6)
- 「産業技術センター第2期中期計画」の策定(H26.3)
- 年間新規投資件数 54件(H25.1～12)
- 「企業立地促進補助金」の見直し(戦略産業分野への補助率の引上げ等)(H26.7)
- 首都圏での企業立地セミナーの開催(H26.2:東京)
- 規制緩和に関する企業ニーズの把握
- 相談機能の充実(土壌汚染対策法関係)

### 事業の概要

## 国際競争力のある「ものづくり立県」の実現



**本県産業を支える瀬戸内産業**

プロジェクト	No	産業インフラの長寿命化
	5	

目標	産業インフラの戦略的な維持管理・更新
----	--------------------

**現状と課題**

- 道路・港湾・工業用水は、重要な産業インフラ
- 高度経済成長期に集中的に整備された社会資本は、建設後既に30～50年の期間が経過
- 国は「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、道路、港湾等の戦略的な長寿命化対策を推進

**取組方針**

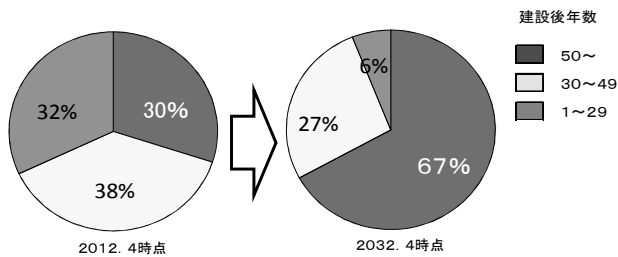
- 持続的、継続的な産業活動に資するため、道路・港湾・工業用水の長寿命化対策を推進します。
  - ・ 道路、港湾については、国の「基本計画」等に基づき、「個別施設計画」を策定し、これらの計画に基づき、確実かつ効率的な長寿命化対策を推進します。
  - ・ 工業用水道については、「施設整備10か年計画」に基づき、施設の老朽化対策を推進します。

**具体的な取組**

取組	<input type="checkbox"/> 道路、港湾施設の長寿命化対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路ストックの点検及び修繕・更新</li> <li>・ 橋梁の長寿命化対策</li> <li>・ 港湾施設の長寿命化対策</li> </ul> <input type="checkbox"/> 工業用水道の老朽化対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管路等の老朽化対策</li> <li>・ 隧道の点検及び補修・補強</li> </ul>					
	工程表	取組	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
道路、港湾施設の長寿命化対策の推進			〈道路ストックの点検及び修繕・更新〉	● 個別計画策定	適時対策に反映	→
			点検実施			策定した計画に基づく修繕・更新
			〈橋梁の長寿命化対策〉	個別計画に基づく修繕・更新	引き続き、個別計画に基づく修繕・更新	
			〈港湾施設の長寿命化対策〉	● 個別計画策定		対策に反映
工業用水道の老朽化対策の推進			管路等の老朽化対策の推進	● 「施設整備10か年計画」の見直し	対策に反映	→
			隧道の点検及び補修・補強	●		→

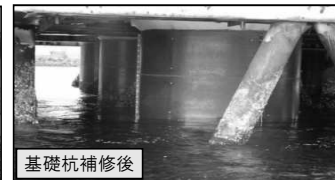
# 事業の概要

## □ 高齢化橋梁の割合の推移

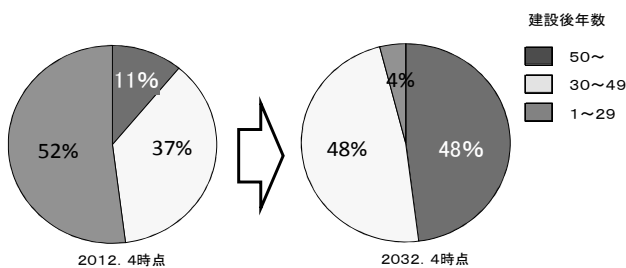


山口県における今後20年間の橋梁全体に占める  
高齢化橋梁の割合の推移

## □ 橋梁の長寿命化対策の事例



## □ 高齢化港湾施設の割合の推移



山口県における今後20年間の港湾施設（岸壁  
等）全体に占める高齢化港湾施設の割合の推移

## □ 港湾施設の長寿命化対策の事例



- 工業用水道施設の老朽化の状況
  - ・40年以上経過した本県施設（管路）の割合
  - ・漏水事故の発生（10年平均：年5回発生）

23%（2014年） → 69%（2024年）

- 工業用水道施設の老朽化対策の事例  
（管路布設替）



- （隧道覆工補強）

